



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月25日

上場会社名 四国化成ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4099 URL <https://www.shikoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 充範
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理担当 (氏名) 安藤 慶明 (TEL) 0877-22-4111
 四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	17,358	18.2	2,405	△0.1	2,903	11.2	1,803	3.4
2023年12月期第1四半期	14,685	—	2,408	—	2,610	—	1,744	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 3,003百万円(29.8%) 2023年12月期第1四半期 2,313百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	36.72	—
2023年12月期第1四半期	33.06	—

当社は、2022年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、前第1四半期(2023年1月1日から2023年3月31日)と比較対象となる前々第1四半期(2022年4月1日から2022年6月30日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	130,908	78,940	59.7
2023年12月期	131,046	86,867	65.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 78,179百万円 2023年12月期 86,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	1.4	7,800	△2.7	8,200	△11.6	5,500	△30.0	108.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	44,869,563株	2023年12月期	50,760,663株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	176,592株	2023年12月期	176,415株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	49,111,426株	2023年12月期 1 Q	52,769,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げや株高を背景として景況感が回復しつつありますが、日銀政策変更後も為替レートが円安に推移し、これを背景とする物価高が個人消費を下押ししており、景気回復は力強さを欠いています。海外経済は、米国では個人消費を中心に景気が堅調に推移していますが、欧州や中国では弱い動きが続いています。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）の当社グループの売上高は173億58百万円（前年同期比18.2%の増収）、営業利益は24億5百万円（前年同期比0.1%の減益）、経常利益は29億3百万円（前年同期比11.2%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億3百万円（前年同期比3.4%の増益）となりました。

売上高は、化学品事業の海外市場での販売が好調に推移し第1四半期として過去最高を更新しました。営業利益は売上原価、販管費の増加により減益となりましたが、為替差益の計上により経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、海外市場での拡販が進捗し前年を上回りました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素はレーヨン市況の低迷等により、前年を下回りました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、販売が堅調に推移し前年を上回りました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は家庭用サニタリー向けが堅調に推移し前年を上回りました。米国市場は、流通での在庫調整の進展とともに需給が引き締まり前年を上回りました。

（ファインケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤タフエースを中心とする電子化学材料は、半導体・エレクトロニクス市場の底打ちや顧客の在庫調整の進展により前年を上回りました。機能材料は、エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）や樹脂改質剤（グリコールウリル誘導体等）の市況回復や需要増により前年を上回りました。半導体プロセス材料も顧客評価の進展や、新規試作需要の獲得などが見られました。

この結果、化学品事業の売上高は118億40百万円（前年同期比30.3%の増収）、セグメント利益は、16億24百万円（前年同期比5.2%の増益）といずれも前年を上回りました。

②建材事業

建設コスト高騰などの影響で持ち家を中心に新設住宅着工戸数の減少傾向が続くとともに、全国的な人手不足による工期の遅延などで非居住建築市場も低迷しており、壁材、エクステリアともに需要が低調に推移し、販売は前年を下回りました。

この結果、建材事業の売上高は52億18百万円（前年同期比2.5%の減収）、セグメント利益は6億92百万円（前年同期比11.1%の減益）といずれも前年を下回りました。

〔参考情報〕

【海外売上高】

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	1,342	9.1	1,966	11.3
北米	2,564	17.5	4,127	23.8
その他の地域	374	2.5	428	2.5
合計	4,281	29.2	6,523	37.6
連結売上高	14,685		17,358	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比1億38百万円減少し、1,309億8百万円となりました。主な増加は、売掛金16億66百万円、建設仮勘定8億47百万円、主な減少は、現金及び預金30億60百万円、械装置及び運搬具5億19百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比77億89百万円増加し、519億67百万円となりました。主な増加は、1年内返済予定長期借入金41億91百万円、支払手形及び買掛金21億75百万円、主な減少は、未払法人税等13億18百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比79億27百万円減少し、789億40百万円となりました。主な減少は、利益剰余金91億16百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.7%から59.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当初公表の計画(2024年1月30日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、140円/米ドル、150円/ユーロと想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,947	26,886
受取手形	589	607
電子記録債権	3,021	3,262
売掛金	13,907	15,574
有価証券	17,505	17,505
商品及び製品	8,947	8,911
仕掛品	37	54
原材料及び貯蔵品	4,400	4,126
その他	1,278	1,330
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	79,631	78,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,926	5,853
機械装置及び運搬具（純額）	6,648	6,129
土地	8,693	8,799
建設仮勘定	3,446	4,293
その他（純額）	645	665
有形固定資産合計	25,360	25,740
無形固定資産	699	658
投資その他の資産		
投資有価証券	21,844	22,605
繰延税金資産	1,909	2,079
退職給付に係る資産	532	530
その他	1,070	1,038
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	25,355	26,253
固定資産合計	51,415	52,652
資産合計	131,046	130,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,940	11,115
電子記録債務	523	540
短期借入金	3,530	5,030
1年内返済予定の長期借入金	5,783	9,974
未払費用	1,476	1,825
未払法人税等	2,696	1,378
未払消費税等	558	336
設備関係支払手形	4	—
設備関係電子記録債務	84	283
その他	3,097	3,290
流動負債合計	26,694	33,775
固定負債		
長期借入金	12,906	13,177
繰延税金負債	2,191	2,634
再評価に係る繰延税金負債	998	998
役員退職慰労引当金	64	62
退職給付に係る負債	591	582
資産除去債務	370	371
株式給付引当金	43	48
その他	317	317
固定負債合計	17,483	18,192
負債合計	44,178	51,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,711	5,711
利益剰余金	66,077	56,961
自己株式	△226	△237
株主資本合計	78,430	69,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,044	6,056
土地再評価差額金	2,274	2,274
為替換算調整勘定	252	390
退職給付に係る調整累計額	155	155
その他の包括利益累計額合計	7,726	8,876
非支配株主持分	710	760
純資産合計	86,867	78,940
負債純資産合計	131,046	130,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	14,685	17,358
売上原価	8,521	10,488
売上総利益	6,164	6,869
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,403	1,667
広告宣伝費	206	142
給料	573	643
退職給付費用	37	31
役員退職慰労引当金繰入額	3	6
研究開発費	383	410
その他	1,148	1,559
販売費及び一般管理費合計	3,755	4,463
営業利益	2,408	2,405
営業外収益		
受取利息	59	106
受取配当金	60	65
為替差益	57	343
雑収入	33	6
営業外収益合計	210	522
営業外費用		
支払利息	7	9
寄付金	—	10
雑損失	1	3
営業外費用合計	8	23
経常利益	2,610	2,903
特別利益		
補助金収入	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	2,610	2,901
法人税等	857	1,047
四半期純利益	1,753	1,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,744	1,803

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
四半期純利益	1,753	1,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	545	1,011
為替換算調整勘定	10	138
退職給付に係る調整額	4	△0
その他の包括利益合計	560	1,150
四半期包括利益	2,313	3,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,304	2,953
非支配株主に係る四半期包括利益	8	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月28日、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式5,891,100株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が10,221百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2024年2月28日、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2024年3月8日付で、自己株式5,891,100株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金が10,209百万円、自己株式が10,209百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
無機化成品	3,310	—	3,310	—	3,310	—	3,310
有機化成品	3,659	—	3,659	—	3,659	—	3,659
ファインケミカル	2,114	—	2,114	—	2,114	—	2,114
壁材	—	323	323	—	323	—	323
エクステリア	—	5,028	5,028	—	5,028	—	5,028
その他	—	—	—	242	242	—	242
顧客との契約から生じる収益	9,084	5,351	14,436	242	14,678	—	14,678
その他の収益	—	—	—	6	6	—	6
外部顧客への売上高	9,084	5,351	14,436	249	14,685	—	14,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	0	3	72	75	△75	—
計	9,087	5,352	14,439	321	14,761	△75	14,685
セグメント利益	1,543	778	2,322	38	2,361	47	2,408

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額47百万円は、事業セグメントに配分していない損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
無機化成品	3,820	—	3,820	—	3,820	—	3,820
有機化成品	5,046	—	5,046	—	5,046	—	5,046
ファインケミカル	2,974	—	2,974	—	2,974	—	2,974
壁材	—	330	330	—	330	—	330
エクステリア	—	4,887	4,887	—	4,887	—	4,887
その他	—	—	—	293	293	—	293
顧客との契約から生じる収益	11,840	5,218	17,059	293	17,352	—	17,352
その他の収益	—	—	—	5	5	—	5
外部顧客への売上高	11,840	5,218	17,059	298	17,358	—	17,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	1	77	79	△79	—
計	11,842	5,218	17,060	376	17,437	△79	17,358
セグメント利益	1,624	692	2,316	44	2,361	44	2,405

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額44百万円は、事業セグメントに配分していない損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。